

北軽井沢に多い樹木3選は、カラマツ、ミズナラ、それにシラカバです。それぞれに光源らしい美しさがあります。カラマツは「落葉松」の名の通り、日本では珍しい「落葉針葉樹」です。11月中旬になると一斉に針のような葉を落とし、まるで「金色の雪」のように美しい光景を見せます。ミズナラは、コナラよりも大ぶりのドングリを落とし、秋には葉が美しい黄色になります。浅間高原のナラ類の木は「天下の美観 檜の黄葉」と称される美しさを誇ります。シラカバは、材として脆く、台風の強風で倒れることがよくあります。また樹液が屋根を黒く汚すので、庭木としてはあまり好まれません。しかも樹皮の真っ白な美しいシラカバはなかなか見当たりません。

しかし、先日北軽井沢のはずれで、すばらしいシラカバ林に出会えました。ロシアに滞在した時にモスクワ郊外でシラカバ林を歩いた時に、案内をしてくれた地元の老婦人が、「ハラショ？（美しいでしょ?）」と聞きました。私は「オーチン・ハラショ！（とても美しい!）」と答えました。あの時のシラカバ林を思い出しました。

(2024年10月下旬／北軽井沢)

